



青中だより

確かな学力を育むために

6月号 平成27年6月30日発行
 糸魚川市大字寺地1160番地
<http://www.itoigawa.ed.jp/omi-jhs/otayori/>

目次

| | |
|-----------------------|--------|
| ○確かな学力を育むために | 1 |
| ○青中健児の活躍 | 2 3 |
| ○海岸清掃ボランティア ○7月の予定 | 4 |

～6月・7月の生徒会～

6・7月のテーマ
 時間を守り
 注意し合える
 青中生

青海中学校では、今年度も「学力向上」に力を入れて取り組んでいます。昨年度の実践からみえてきた課題、諸検査の結果を受けて気づいた改善点を、今年度の学習指導に生かしていきたいと考えています。

前年度の学習内容が身に付いているかどうかを調べるために、4月10・13日にNRT標準学力検査を実施しました。学校全体としては、落ち着いて学校生活を送る生徒が増え、授業にも年々意欲的に取り組む様子が見られるようになってきています。NRT標準学力検査の結果を見ると、1・2年生は、各教科とも全国平均を上回っています。3年生も理科・英語に課題は残るものの昨年度より向上が見られ、各自が苦手教科の克服に努力してきたことがうかがわれます。

研究推進部ではそれらの結果分析をもとに、生徒全員の『確かな学力』をはぐくむよう学習指導を進めていきます。授業では、『分かる・できると実感できる授業の実践』をテーマとして「授業改善」に取り組みます。その方策として、昨年度から実践を進めている、意見交換や共同学習を用いて生徒同士の力で学びを深める「学び合い」を取り入れた授業づくりに力を入れていきます。今年度はさらに、キャリア教育の視点を取り入れた授業改善への取組にも着手しています。当面は生徒の日常生活に即した課題設定を工夫し、生徒の意欲向上を図るとともに、振り返りをとおして自己を見つめる力の伸張を図っていきます。また、「家庭学習の習慣づくり」では、生徒が授業の予習・復習に重点を置けるよう「自主学習ノート」を改め「家庭学習ノート」を各教科ごとにつくり、予習・復習を中心とした家庭学習ができるよう教科部・学年部が協力して取り組むようにします。

青海中学校区では、幼稚園・保育園・小学校と連携を取り合いながら教育活動を進めています。今年度も、培った連携を大切にしながら取り組んで参ります。

..... 今年度の取り組み

- やればできる5教科の「基礎テスト」と、それに連動した「週末課題」を実施する。
- 数学(2・3年生)と英語(1・3年生)でチームティーチングを行い、個別指導を行う。
- 「授業アンケート」で、授業の改善点を明らかにし、授業改善に生かす。
- NRT検査・Web配信問題の分析を行い、補充学習と授業改善を行う。
- 『分かる・できると実感できる授業の実践』を柱とした職員研修を行う。
- 長期休業中の「学習会」を実施する。
- (6+学年)×10分の家庭学習の確立を図る。
- 各学年教科別に5冊の「家庭学習ノート」を準備し、予習復習を中心とした家庭学習を推進し、授業と家庭学習の連動を図る。
- 3年生は、例年同様テキストを利用した家庭学習を行い、進路実現に向けて一層の学力の定着を図る。

学校での取組をご理解いただき、ご家庭でも基本的な生活リズムを整え、特に家庭学習の定着に向けてご協力いただければ幸いです

